

2. 人口

(1) 人口推移

- 国勢調査による令和 2 年（2020 年）時点の本町の人口は、36,198 人となっています。
- 平成 12 年（2000 年）以降の推移をみると、学研都市の建設などによって平成 27 年（2015 年）にかけて増加が続いていましたが、令和 2 年には減少に転じています。
- 年齢 3 区分別人口の推移をみると、15 歳未満、15～64 歳の人口は平成 17 年（2005 年）に大きく増加していますが、以降は減少が続いています。一方、65 歳以上の人口は増加が続いており、平成 27 年以降は 15 歳未満の人口を上回っています。
- 構成比をみると、15 歳未満の占める割合が低下する一方、65 歳以上の占める割合が上昇しており、少子高齢化の傾向が現れています。
- 国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」といいます。）によると、本町の将来人口は減少が続き、令和 32 年（2050 年）には 28,670 人（令和 2 年人口に対して約 21% 減）にまで減少すると推計されています。また、65 歳以上の占める割合は令和 2 年の 25.1% から、令和 32 年には 42.1% にまで上昇するなど、高齢化が急速に進むと推計されています。
- 精華町第 6 次総合計画策定時の本町独自の推計結果では、社人研推計値とは異なり、令和 9 年（2027 年）にかけて増加傾向にあるものの、以降は減少に転じると推計されています。また、65 歳以上の占める割合は令和 12 年（2030 年）には 30.7% と、社人研推計値と同程度に高齢化が進むと推計されています。

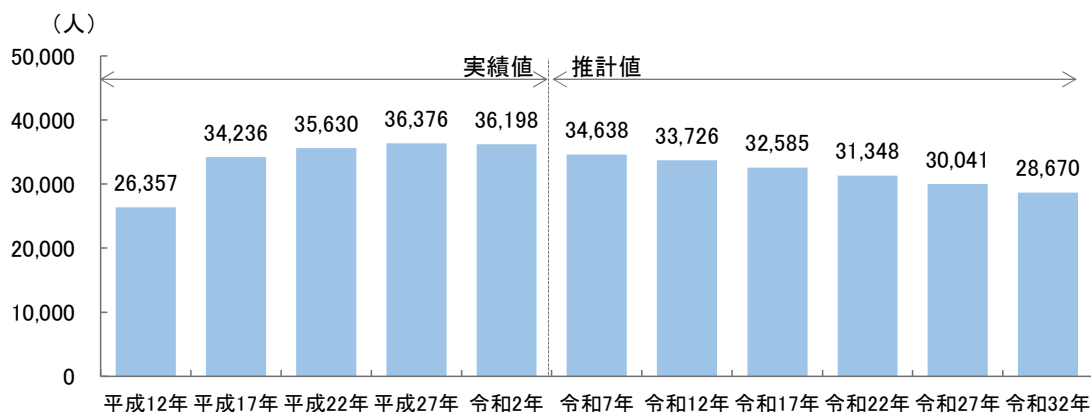


図 人口の推移

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（令和 5 年（2023 年）推計）

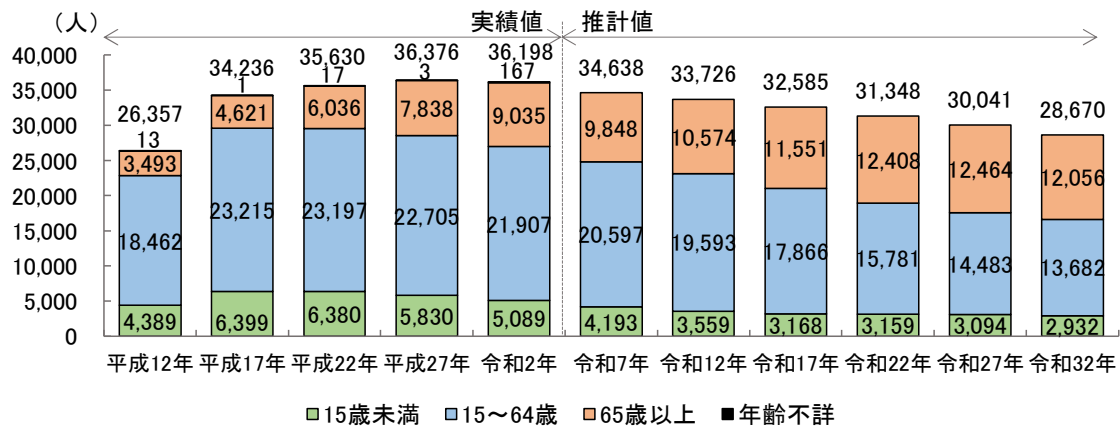
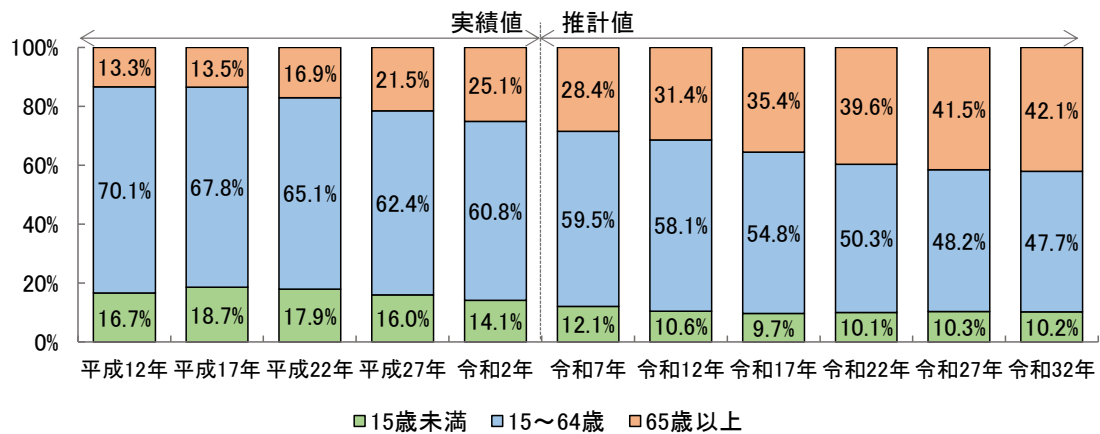


図 年齢3区分人口の推移

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（令和5年（2023年）推計）



※令和2年までは年齢不詳を除く構成比

図 年齢3区分人口構成比の推移

出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所（令和5年（2023年）推計）

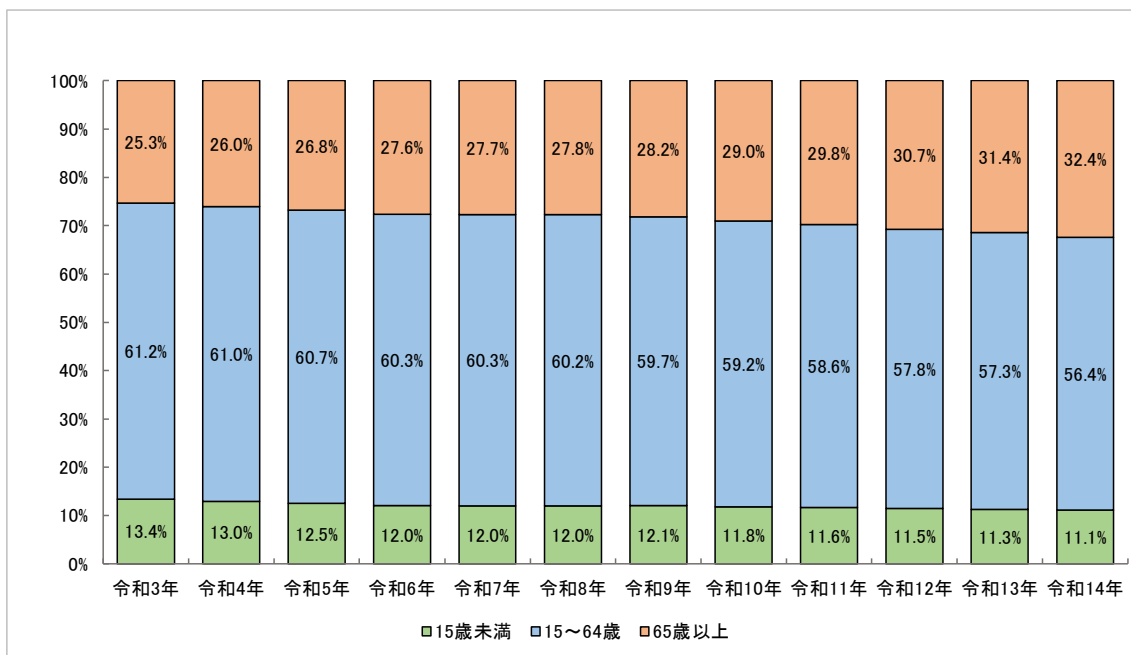
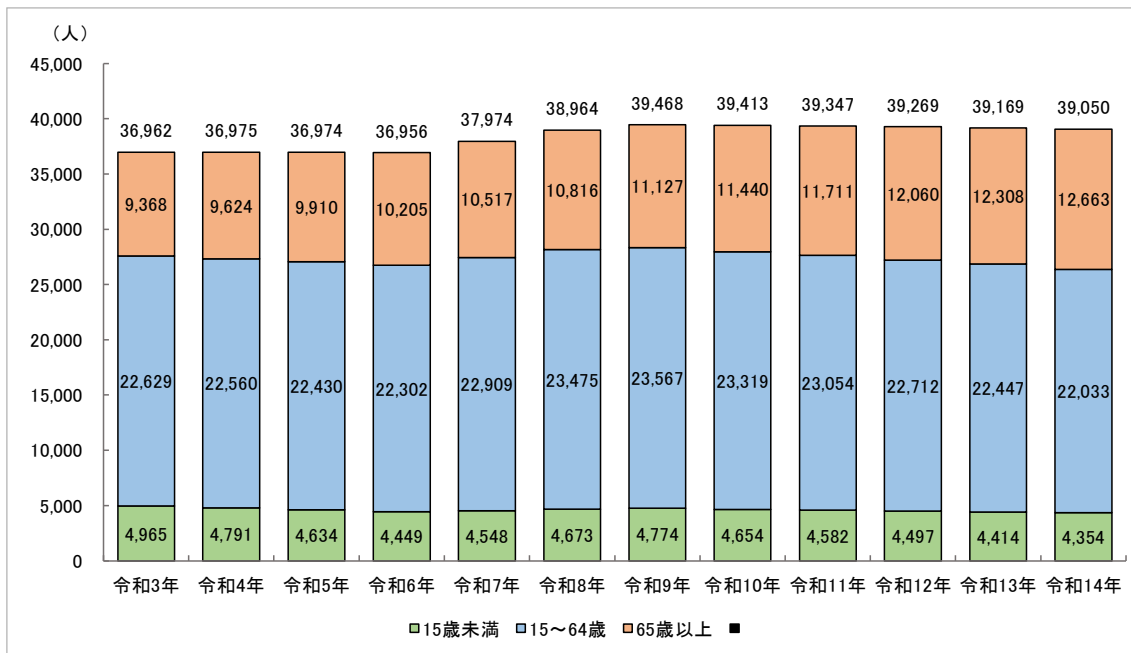


図 人口推計結果

出典：精華町第6次総合計画資料編（精華町次期総合計画人口推計調査結果報告書）

(2) 人口密度

- 令和2年（2020年）時点の人口密度の分布をみると、JR下狛駅・近鉄狛田駅周辺やJR祝園駅・近鉄新祝園駅周辺、精華台、光台、桜が丘では人口集中地区（DID）の基準密度（40人/ha）を上回る地区が多くみられます。特に、新祝園駅の東側や精華台、光台、桜が丘の一部では80人/ha以上と高密度な地区がみられますが、精華台と光台の一部では、商業施設や業務施設が立地しているため、人口がみられない地区があります。また、下狛駅・狛田駅から祝園駅・新祝園駅にかけての既存集落地では20～40人/haの地区がみられます。
- 市街化区域では、人口集中地区（DID）の基準密度を上回る地区が多くみられますが、現状のまま人口減少や少子高齢化が進行した場合、市街地の低密度化が懸念されます。

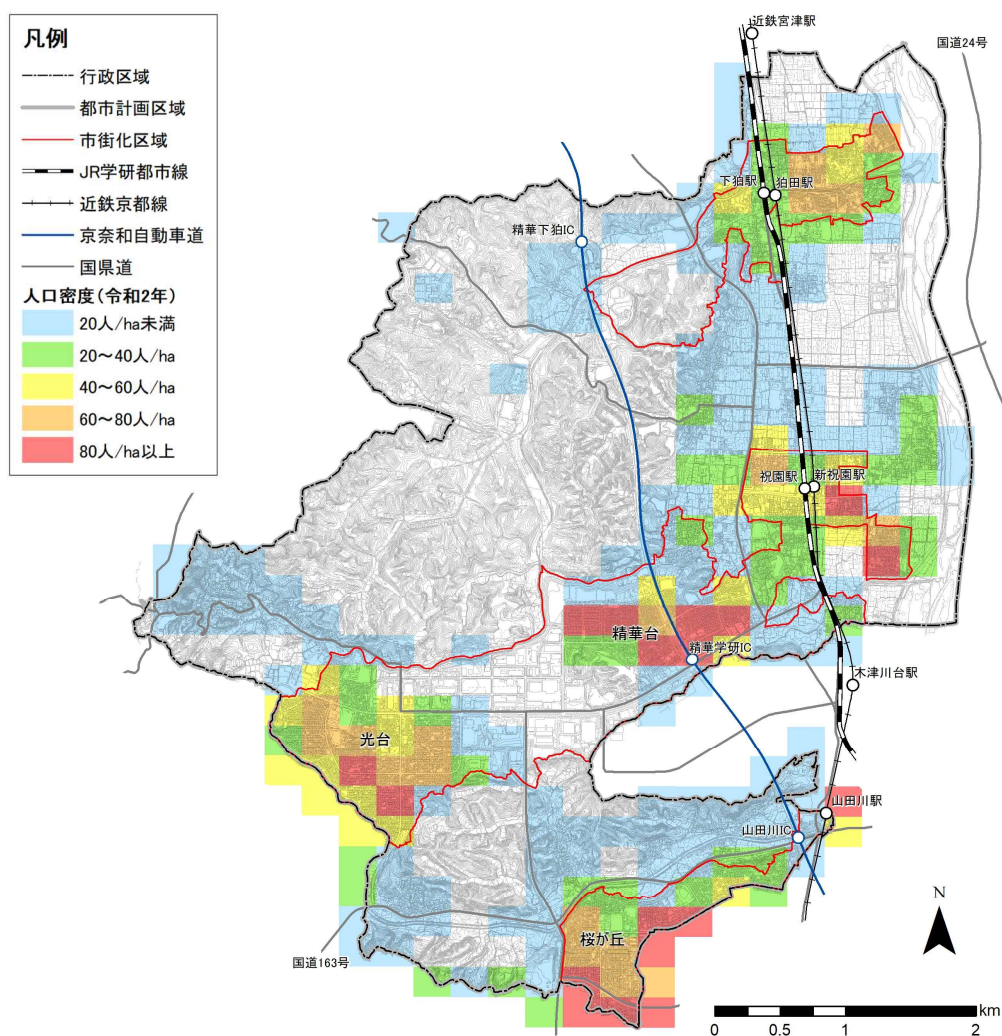


図 人口密度の分布（令和2年（2020年））

出典：令和2年国勢調査（250mメッシュ）

(3) 流入・流出就業人口

- 令和2年（2020年）時点の本町に住んでいる就業者数は16,065人となっています。そのうち、町外への就業者数（流出就業人口）は11,431人（全体の約71%）となっており、平成17年（2005年）（11,414人、全体の約73%）から就業者数、構成比ともに大きな傾向の変化はみられません。
- 令和2年時点の本町で働いている就業者数は11,420人となっています。そのうち、町外からの就業者数（流入就業人口）は6,786人（全体の約59%）となっており、平成17年（4,284人、全体の約51%）から就業者数、構成比ともに増加しています。
- 本町の流入・流出就業人口を比較すると、平成17年以降流入就業人口よりも流出就業人口が多い流出超過が続いています。
- 令和2年時点の本町からの流出先は、奈良市が1,880人で最も多く、次いで大阪市（1,680人）、京都市（1,566人）の順となっており、主要な都市のベッドタウンであることが伺えます。
- 令和2年時点の本町への流入元は、木津川市が1,686人で最も多く、次いで奈良市（1,252人）、京田辺市（721人）の順となっており、近隣都市の就業の場にもなっていることが伺えます。

表 就業者の流出先

	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)
京都府内(精華町除く)	4,511	28.9	4,847	30.1	4,974	30.3	5,100	31.7
京都市	1,521	9.8	1,515	9.4	1,571	9.6	1,566	9.7
宇治市	342	2.2	325	2.0	335	2.0	331	2.1
城陽市	314	2.0	293	1.8	302	1.8	330	2.1
京田辺市	804	5.2	899	5.6	948	5.8	1,008	6.3
木津川市	949	6.1	1,176	7.3	1,147	7.0	1,227	7.6
その他の市町村	581	3.7	639	4.0	671	4.1	638	4.0
大阪府内	3,544	22.7	3,346	20.8	3,051	18.6	2,835	17.6
大阪市	2,131	13.7	2,073	12.9	1,827	11.1	1,680	10.5
その他の市町村	1,413	9.1	1,273	7.9	1,224	7.5	1,155	7.2
奈良県内	2,980	19.1	2,924	18.2	2,869	17.5	2,758	17.2
奈良市	2,047	13.1	1,980	12.3	1,922	11.7	1,880	11.7
生駒市	300	1.9	368	2.3	391	2.4	375	2.3
その他の市町村	633	4.1	576	3.6	556	3.4	503	3.1
その他の都道府県	379	2.4	419	2.6	569	3.5	407	2.5
不詳	0	0.0	460	2.9	624	3.8	331	2.1
町外への就業者(流出人口)	11,414	73.2	11,996	74.5	12,087	73.7	11,431	71.2
自都市内就業者	4,186	26.8	4,106	25.5	4,306	26.3	4,634	28.8
合計	15,600	100.0	16,102	100.0	16,393	100.0	16,065	100.0

出典：国勢調査

表 就業者の流入元

	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)	就業者数(人)	構成比(%)
京都府内(精華町除く)	2,493	29.4	2,797	29.9	3,113	29.6	3,699	32.4
京都市	307	3.6	311	3.3	405	3.8	512	4.5
宇治市	239	2.8	249	2.7	274	2.6	252	2.2
城陽市	233	2.8	227	2.4	211	2.0	219	1.9
京田辺市	379	4.5	418	4.5	573	5.4	721	6.3
木津川市	901	10.6	1,287	13.7	1,362	12.9	1,686	14.8
その他の市町村	434	5.1	305	3.3	288	2.7	309	2.7
大阪府内	471	5.6	596	6.4	794	7.5	820	7.2
大阪市	77	0.9	127	1.4	163	1.5	173	1.5
その他の市町村	394	4.7	469	5.0	631	6.0	647	5.7
奈良県内	1,163	13.7	1,283	13.7	1,491	14.2	1,754	15.4
奈良市	805	9.5	866	9.2	997	9.5	1,252	11.0
生駒市	158	1.9	224	2.4	274	2.6	280	2.5
その他の市町村	200	2.4	193	2.1	220	2.1	222	1.9
その他の都道府県	157	1.9	122	1.3	195	1.9	182	1.6
不詳	0	0.0	460	4.9	624	5.9	331	2.9
町外からの就業者(流入人口)	4,284	50.6	5,258	56.2	6,217	59.1	6,786	59.4
自都市内就業者	4,186	49.4	4,106	43.8	4,306	40.9	4,634	40.6
合計	8,470	100.0	9,364	100.0	10,523	100.0	11,420	100.0

出典：国勢調査